

樹木類

農薬取締法上、「はなもも」は樹木類に含まれる。

うどんこ病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [フルピカフロアブル](#) [9](#) 【樹木類(除かし) 2000倍 発病初期/5回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) [1](#) 【1000倍 発病初期/5回】
 - ・ [トリフミン水和剤](#) [3](#) 【樹木類(除しきみ) 3000倍 発病初期/5回】
 - ・ [モレスタン水和剤](#) [M10](#) 【樹木類(除こでまり、ポインセチア、やなぎ) 2000倍 発病初期/10回】

枝枯細菌病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ペンコゼブ水和剤](#) [M3](#) 【600倍 新梢伸長期～発病初期/4回】

くもの巣病

留意事項

- 1 SDHI剤 ([7](#)) は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [リゾレックス水和剤](#) [14](#) 【1000倍 発病初期/5回】
 - ・ [バシタック水和剤75](#) [7](#) 【1000倍 発病初期/3回】

ごま色斑点病

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ベンレート水和剤](#) [1](#) 【2000倍 発病初期/—】

切り口及び傷口のゆ合促進

防除方法

- 1 下記の薬剤を塗布する。
 - ・ [トップジンMペースト](#) [1](#) 【原液 塗布 せん定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後/5回】

白絹病

留意事項

- 1 SDHI剤 ([7](#)) は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
 - ・ [リゾレックス水和剤](#) [14](#) 【1000倍 株元かん注 3L/m² 発病初期/5回】
 - ・ [バシタック水和剤75](#) [7](#) 【1000倍 土壌かん注 3L/m² 発病初期/3回】

炭疽病 (たんそびょう)

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ペンコゼブ水和剤](#) [M3](#) 【600倍 発病初期/4回】
 - ・ [ベルコート水和剤](#) [M7](#) 【1000倍 発病初期/3回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ベンレート水和剤](#) [1](#) 【2000倍 発病初期/—】
 - ・ [トップジンM水和剤](#) [1](#) 【1000～2000倍 発病初期/5回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

灰色かび病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [フルピカフロアブル](#) [9](#) 【樹木類(除かし) 2000倍 発病初期/5回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ゲッター水和剤](#) [10](#) [1](#) 【樹木類(除ハイドランジア、やなぎ) 1000倍 感染期～発生初期/5回】

斑点症(シュードサーコスポラ菌)

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ペンコゼブ水和剤](#) [M3](#) 【600倍 発病初期/4回】
 - ・ [Zポルドー](#) [M1](#) 【800倍 発病初期/—】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) [1](#) 【1000倍 発病初期/5回】

輪紋葉枯病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [Zポルドー](#) [M1](#) 【500倍 発病初期/—】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ベンレート水和剤](#) [1](#) 【2000倍 発病初期/—】
 - ・ [トップジンM水和剤](#) [1](#) 【1000倍 発病初期/5回】

アザミウマ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [オルトラン水和剤](#) [1B](#) 【1000倍 発生初期/5回】

アブラムシ類

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [オンコル粒剤5](#) [1A](#) 【樹木類(除つつじ類) 6kg/10a 株元散布 生育期/3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) [3A](#) 【樹木類(除くちなし) 4000～8000倍 発生初期/6回】
 - ・ [マツグリーン液剤2](#) [4A](#) 【樹木類(除つつじ類、とちのき、プラタナス、さんごじゅ、ひいらぎもくせい、いぬまき、あじさい、さくら) 500倍 発生初期/5回】

アメリカシロヒトリ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ダイアジノン水和剤34](#) [劇](#) [1B](#) 【1000～1500倍 発生初期/4回】
 - ・ [トアロー水和剤CT](#) [1](#) [1A](#) 【樹木類(除つばき類) 1000～2000倍 発生初期/—】

イラガ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トアロー水和剤CT](#) [1](#) [1A](#) 【樹木類(除つばき類) 1000倍 発生初期/—】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

エダシャク類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スミパイン乳剤](#) **1 B** 【1000～1500倍 若令・中令幼虫期／6回】

オビカレハ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トレボン乳剤](#) **3 A** 【樹木類(除つつじ類、ポインセチア、ソテツ) 2000倍 幼虫発生期／6回】

カイガラムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アタックオイル](#) **UNM** 【100倍 —／—】
 - ・ [カルホス乳剤](#) **劇 1 B** 【樹木類(除まさき、もっこく、さくら) 1000倍 発生初期／6回】
 - ・ [マツグリーン液剤2](#) **4 A** 【樹木類(除さくら、プラタナス) 50倍 樹幹注入 春季～秋季／1回】

※処理液量はラベルの記載どおりに行うこと。
 【樹木類(除つつじ類、とちのき、プラタナス、さんごじゅ、ひいらぎもくせい、いぬまき、あじさい、さくら) 250倍 発生初期／5回】

カミキリムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ロビンフッド](#) **3 A** 【樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 —／6回】
 - ・ [スミパイン乳剤](#) **1 B** 【カミキリムシ類(除スギカミキリ) 樹木類(倒木、伐倒木) 50～150倍 300～600ml／㎡(樹皮表面積1㎡当り) 伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期／6回】
 【カミキリムシ類(除スギカミキリ) 50～150倍 300～600ml／㎡(樹皮表面積1㎡当り) 樹幹散布 成虫の発生初期または直前／6回】
 - ・ [ベニカカミキリムシエアゾール](#) **3 A** 【樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 —／6回】

クイムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スミパイン乳剤](#) **1 B** 【樹木類(倒木、伐倒木) 50～150倍 300～600ml／㎡(樹皮表面積1㎡当り) 伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期／6回】
 【50～150倍 300～600ml／㎡(樹皮表面積1㎡当り) 樹幹散布 成虫の発生初期または直前／6回】

ゲンバウムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) **劇 4 A** 【樹木類(除まつ、やなぎ、さくら) 2000倍 発生初期／5回】

ケムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [トレボン乳剤](#) 3 A
【樹木類(除つつじ類、ポインセチア、ソテツ) 4000倍 幼虫発生期/6回】
- ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A
【樹木類(除つつじ類、つばき類) 2000倍 発生初期/5回】
- ・ [アディオン乳剤](#) 3 A【樹木類(除くちなし) 4000~8000倍 発生初期/6回】
- ・ [カルホス乳剤](#) 劇 1 B
【樹木類(除まさき、もっこく、さくら) 1000倍 発生初期/6回】
- ・ [アクセルフロアブル](#) 2 2 B【樹木類(除さくら) 1000~4000倍 発生初期/6回】
- ・ [ゼンターリ顆粒水和剤](#) 1 1 A【1000倍 発生初期/—】
- ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5【5000倍 発生初期/2回】
- ・ [エスマルクDF](#) 1 1 A【2000倍 発生初期/—】

シャクトリムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [トレボン乳剤](#) 3 A
【樹木類(除つつじ類、ポインセチア、ソテツ) 4000倍 幼虫発生期/6回】
- ・ [アディオン乳剤](#) 3 A【樹木類(除くちなし) 4000~8000倍 発生初期/6回】
- ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 1 4【1500~3000倍 発生初期/3回】
- ・ [エスマルクDF](#) 1 1 A【2000倍 発生初期/—】

ゾウムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [スミパイン乳剤](#) 1 B
【樹木類(倒木、伐倒木) 50~150倍 300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り)
伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期/6回】
【50~150倍 300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り) 樹幹散布
成虫の発生初期または直前/6回】

ドクガ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [スミパイン乳剤](#) 1 B【1000~1500倍 若令・中令幼虫期/6回】

トビモンオオエダシャク

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [バシレックス水和剤](#) 1 1 A【500~1000倍 発生初期/—】

ネグサレセンチュウ

防除方法

1 移植前に下記の薬剤を使用する。

- ・ [アグリメック](#) 劇 6【樹木類(除しきみ) 500倍 60分間根部浸漬 移植前/1回】

ハダニ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [パロックフロアブル](#) 1 0 B【2000倍 発生初期/1回】

ハマキムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [ディアナSC](#) 5【2500~5000倍 発生初期/2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

フラーパラゾウムシ

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [トクチオン乳剤](#) 1B
【樹木類(除つばき類、さくら、プラタナス) 1000倍 発生初期/5回】

マイマイガ

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [スミパイン乳剤](#) 1B 【1000~1500倍 若令・中令幼虫期/6回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。